

2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 初穂商事株式会社
 コード番号 7425 URL <http://www.hatsuho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長 (氏名) 成田 哲人
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 052-222-1066

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	21,525		400		489		235	
2019年12月期第3四半期								

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 300百万円 (%) 2019年12月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	288.30	
2019年12月期第3四半期		

前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しておりますので、2019年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	17,070	7,478	38.9
2019年12月期	20,154	7,297	32.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 6,636百万円 2019年12月期 6,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		100.00	100.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	32,500		700		780		390	476.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

前連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であり、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としているため、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	870,165 株	2019年12月期	870,165 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	51,777 株	2019年12月期	51,687 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	818,413 株	2019年12月期3Q	818,548 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う経済活動の縮小による影響により、依然として厳しい状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資においては堅調に推移したものの、民間投資においては、住宅建設および企業の設備投資が、企業収益の大幅な減少や先行き不透明感の高まりにより弱含みで推移いたしました。また、労働力不足を背景とした各種コストにおいては、高止まりしている状態であります。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、連結グループ経営が本格的にスタートし、「内装建材事業」、「エクステリア事業」、「住環境関連事業」の三本の事業セグメントを軸に多角的な事業展開によるグループ成長に取り組んで参りました。しかし、東京五輪関連事業及び国内企業の設備投資の一服による建設需要の低迷に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の縮小による影響が継続しており、低調な荷動きとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、215億25百万円、営業利益4億円、経常利益4億89百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2億35百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(内装建材事業)

内装建材事業は、開催を予定していた東京五輪関連の建設需要が一服し、民間の設備投資や住宅投資においても建設需要が減少した影響により荷動きが鈍い状況となりました。主に関東圏、中京圏での建設需要減少の影響により低調な推移となりました。その他、首都圏の販売強化及びシェア拡大を図るため東京営業所を開設し、7月より本格稼働いたしました。

この結果、売上高は94億66百万円、営業利益は2億86百万円となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業は、ハウスメーカーや外構工事業者向けにカーポートや物置、フェンスや石材等のエクステリア商品を販売しておりますが、当四半期においては、復興特需案件などが無く、業績に大きな動きはありませんでしたが、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は89億81百万円、営業利益は3億83百万円となりました。

(住環境関連事業)

住環境関連事業は、住宅や環境に関わる商品群として、主に屋根工事・外装板金工事といった建設業者向けに商品の販売をしておりますが、当四半期においては、主力エリアである中部地区の工事案件が減少し、低調な荷動きとなりました。主にカラー鉄板・環境関連の工事案件が減少し、低調な荷動きとなりました。

この結果、売上高は30億92百万円、営業利益は79百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は170億70百万円となり、前連結会計年度末に比べて30億84百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が12億45百万円、受取手形及び売掛金が16億9百万円、電子記録債権が1億19百万円、投資その他の資産のその他が2億61百万円減少し、流動資産のその他が81百万円、有形固定資産のその他が1億5百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は95億91百万円となり、前連結会計年度末に比べて32億65百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が23億11百万円、電子記録債務が73百万円、1年内返済予定の長期借入金が66百万円、未払法人税等が3億6百万円、流動負債のその他が1億80百万円、長期借入金が3億74百万円、役員退職慰労引当金が1億89百万円減少し、短期借入金が2億円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は74億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億81百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1億54百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で検討した結果、2020年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に関して、経済活動の停滞に伴う実体経済への影響が強く懸念されます。業績予想への影響は現時点では見通すことは困難であるため反映しておりませんが、今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

[ご参考 2020年度(2020年12月期)連結業績見通し]

売上高	325億円
営業利益	7億円
経常利益	7億80百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3億90百万円

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2020年度(2020年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,175,692	3,930,336
受取手形及び売掛金	7,240,962	5,631,105
電子記録債権	632,986	513,978
商品	876,456	878,187
その他	127,126	208,684
貸倒引当金	△9,634	△6,228
流動資産合計	14,043,589	11,156,061
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,903,485	2,905,330
その他(純額)	757,353	862,909
有形固定資産合計	3,660,839	3,768,240
無形固定資産		
顧客関連資産	539,451	498,992
その他	53,081	46,229
無形固定資産合計	592,532	545,222
投資その他の資産		
その他	1,915,981	1,654,664
貸倒引当金	△58,310	△54,074
投資その他の資産合計	1,857,670	1,600,590
固定資産合計	6,111,043	5,914,053
資産合計	20,154,632	17,070,115
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709,604	5,398,145
電子記録債務	1,070,908	997,044
短期借入金	170,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	566,710	499,980
未払法人税等	307,401	890
賞与引当金	90,710	119,325
役員賞与引当金	15,000	-
役員退職慰労引当金	9,785	-
その他	574,294	393,617
流動負債合計	10,514,414	7,779,002
固定負債		
長期借入金	1,520,863	1,145,878
役員退職慰労引当金	410,561	220,975
資産除去債務	25,647	25,969
その他	386,143	419,973
固定負債合計	2,343,215	1,812,796
負債合計	12,857,630	9,591,798

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,316,174	1,316,174
利益剰余金	4,404,064	4,558,168
自己株式	△123,149	△123,439
株主資本合計	6,482,224	6,636,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,895	586
その他の包括利益累計額合計	6,895	586
非支配株主持分	807,882	841,690
純資産合計	7,297,002	7,478,316
負債純資産合計	20,154,632	17,070,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	21,525,313
売上原価	17,991,617
売上総利益	3,533,696
販売費及び一般管理費	3,133,396
営業利益	400,299
営業外収益	
受取利息	2,499
受取配当金	1,020
仕入割引	76,298
その他	28,757
営業外収益合計	108,576
営業外費用	
支払利息	4,400
売上割引	13,279
その他	1,387
営業外費用合計	19,067
経常利益	489,807
税金等調整前四半期純利益	489,807
法人税、住民税及び事業税	150,513
法人税等調整額	32,679
法人税等合計	183,192
四半期純利益	306,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	70,663
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,952

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	306,615
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△6,308
その他の包括利益合計	△6,308
四半期包括利益	300,307
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	230,608
非支配株主に係る四半期包括利益	69,698

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
外部顧客への売上高	9,465,200	8,967,146	3,092,967	21,525,313
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,097	14,102	-	15,199
計	9,466,297	8,981,248	3,092,967	21,540,513
セグメント利益	286,781	383,565	79,090	749,437

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	749,437
全社費用(注)	△349,137
四半期連結損益計算書の営業利益	400,299

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末より、株式会社アイシンの株式を取得し同社及び同社の子会社1社を子会社化したことに伴い、報告セグメントを従来の建設資材販売の単一セグメントから、「内装建材事業」、「エクステリア事業」、「住環境関連事業」の3区分に変更しております。なお、市場、顧客の種類及び製品の内容が概ね類似している事業セグメントを集約しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2020年10月22日開催の取締役会において、株式分割を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2020年12月31日（実質的には2020年12月30日）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	870,165株
株式分割により増加する株式数	870,165株
株式分割後の発行済株式総数	1,740,330株
株式分割後の発行可能株式総数	2,340,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2020年12月14日
基準日	2020年12月31日（実質的には2020年12月30日）
効力発生日	2021年1月1日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	144円15銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(3) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。